

(公社)北海道ろうあ連盟女性部 創立50周年記念事業 特別企画



# ヒゲの校長

映画

Once upon a time in Osaka. for the Deaf with Sign Language 1914



日程：2024年3月17日(日)

会場：道民活動センター かでのホール  
(札幌市中央区北2条西7丁目)

午前の部 10:00～ 受付(特別企画 上映会)  
10:30～ 「ヒゲの校長」(1回目)

午後の部 14:00～ 受付(特別企画 上映会)  
14:30～ 「ヒゲの校長」(2回目)

各回上映前にミニ講演あります(約30分)  
上映時間120分映画には字幕がつきます

主催 公益社団法人北海道ろうあ連盟  
主管 公益社団法人北海道ろうあ連盟女性部  
協力 公益社団法人札幌聴覚障害者協会女性部  
後援 北海道教育委員会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
手話を広める北海道議会議員連盟、北海道聾学校長会  
北海道聾学校PTA連合会、北海道中途難失聴者協会  
特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会北海道ブロック  
北海道手話サークル連絡協議会、北海道手話通訳問題研究会  
北海道手話通訳士会(予定)

申し込み先及び問い合わせ先  
公益社団法人北海道ろうあ連盟女性部  
女性部事務局長 福岡 静枝  
FAX 011-563-1875  
メール tikosuzzy@gmail.com



鑑賞料	大人	高校生	中学生	小学生
前売	1800円	1000円	500円	無料
当日	2000円	1000円	500円	無料

鑑賞料は下記の口座までにお振込みお願いします  
支店名 北洋銀行 道庁支店  
口座番号 0614383  
口座名義 公益社団法人北海道ろうあ連盟  
女性部長 佐々木 柄理子

お名前					連絡先:
メールアドレス					@
鑑賞	<input type="checkbox"/> 大人	<input type="checkbox"/> 高校生	<input type="checkbox"/> 中学生	<input type="checkbox"/> 小学生	
上映時間	<input type="checkbox"/> 午前の部 10:00～		<input type="checkbox"/> 午後の部 14:30～		
支払方法	<input type="checkbox"/> 女性部役員へ			<input type="checkbox"/> 銀行振込	

## 【映画について】

皆さんは、耳がきこえない人と話されたことはありますか。筆談、ジェスチャー、口元を見せてゆつくりはつきり話すなど、さまざまなコミュニケーション方法がありますが、その中で手話をメインにして話す人たち「ろう者」がいます。ろう者にとって**手話**はかけがえのない言葉です。

ろう・難聴の子どもたちが通う**ろう学校・聴覚支援学校**では、手話が使われてきたのだろう…そう、多くの方が思うでしょう。ところが、大正の終わり頃から最近までろう学校では手話は禁止・制限されていました。「**口話法**」と言って発声し、相手の口の動きを読みとる方法が急速に広がり、口話法を進めるには手話は不要なものとされてしまったからです。きこえない子どもが訓練によって話せるようになる…、なんと素晴らしいことだろうと、ろう者のことを知らない人は思うかも知れません。

しかし、口話法を身につけさせるために、かつての口話訓練は、つい手話で話してしまう子どもは叩かれ、両手を縛られもした苛酷なものでした。おおっぴらに手話ができないろう者たちはずっと苦しみました。

そこに疑問をもち、個々の子どもに合わせて手話と口話を取り入れる教育を進めた学校がありました。この映画の舞台となる**大阪市立聾啞学校**です。

映画『ヒゲの校長』は、**校長 高橋 潔**を中心に教師たちがスクラムを組んで、手話を守り続けた実話がもとになっています。愛情と信念をもって子どもらに接した高橋と「チーム高橋」の教員たち、高橋に献身的に寄り添った家族…戦争にあげられた困難な時代に、ろう者と共に生きた人々の物語です。

どうぞ、ご家族、お友だちとご一緒にお越しく下さい。



【昭和8年 大阪市立聾啞学校】  
～ 高橋校長ときこえない先生たち ～



## 【あらすじ】

**大正3年仙台から大阪へ**、青年高橋潔は、恩師の紹介状を持って大阪市立聾啞学校の門を叩いた。家の事情にて海外留学し音楽家を目指す夢をあきらめ、失意にあった高橋。

そんな彼の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられて来た正一君。耳がきこえず、会話できないもどかしさで暴れる正一君に、高橋は寄り添い、手話を覚え、彼と共に歩みだす…。手話やろう者のことを高橋先生に教えるきこえない先生たち…。

しかし、時代は大きく変わる。「口話法」という嵐が全国の聾学校に吹きまくり、口の動きを読み取り、発語できるようにするためには手話は禁止するべきと、ほとんどの学校が手話を抑えていった。

ろう者の言葉である手話がつぶされそうになっていく中、手話とろう者を守るべく、高橋校長と先生たちは一丸となって時代にあらがおうと立ち上がった…。